



糖尿病は日本において予備軍も含めて約2000万人の患者がいるとされる国民病ともいえる病気です。今回はそんな糖尿病に処方される血糖値を下げるお薬の効果と飲み方、注意点などを紹介させていただきます。



血糖値のお薬の効果と飲み方



血糖値を下げるお薬のなかには食事のタイミングと効果が深く関係するものがあります。服用するタイミングに注意しなければならないお薬について一部を紹介させていただきます。

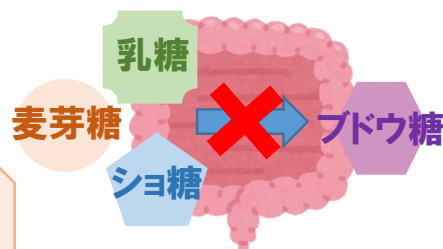
α-グルコシダーゼ阻害薬

効果：腸内での糖の分解を抑制し、糖分の吸収を遅らせることで血糖値の上昇を抑えます。

用法：**食事の直前**に服用しましょう。

なぜ直前に飲むの??

食べ物が分解される前に効果を発揮するために食事の直前に服用する必要があります



適切な効果を得るために用法が決められています！

速効・短時間型インスリン分泌促進薬

効果：膵臓を刺激してインスリンの出る量を増やし、

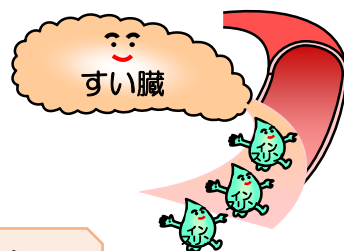
食事によって上がる血糖値を下げます。

効果はとても早くあらわれます。

用法：**食事の直前**に服用しましょう。

なぜ直前に飲むの??

食事によって上がる血糖値を下げるため、お薬を飲んでから食事までの時間が空くと血糖値が下がり過ぎてしまいます



副作用を予防するために用法が決められています！

お薬の飲み方は、適切な効果を得るため、
または副作用を防止するために決められています。
お薬は間違いなく決められた用法で服用しましょう。



⚠ 血糖値を下げるお薬の注意点 ⚠

血糖値を下げるお薬の共通する注意点として低血糖があります。低血糖の症状と対応方法を紹介させていただきます。

低血糖の一般的な症状

低血糖は血糖値が70mg/dL未満まで低下した状態です。血糖値に応じて右のような自覚症状としてあらわれます。お薬によっては血糖値を下げる効果で低血糖になる可能性が高まるので代表的な症状を覚えて早めに気付けるようにしましょう。

70

・ 空腹感、あくび、悪心

50

・ 無気力、倦怠感、計算力低下

40

・ 冷汗、動機、ふるえ

20

・ けいれん、昏睡

低血糖の対応方法

低血糖になった際は、足りなくなった糖を補い血糖値を上げる必要があります。市販の甘いジュースでも問題ありませんが、糖のなかで最も吸収の早いブドウ糖での対応が確実です。使用しているお薬によってはブドウ糖以外では対応が遅れてしまう場合があるので注意しましょう。

低血糖の症状が出たら…

・ブドウ糖を飲む

※歯茎に擦り込むことでも吸収されます。

※αグルコシダーゼ阻害薬を服用中の場合、対応はブドウ糖でなければなりません。

・甘いジュースなどを飲む

※ノンカロリーなど人工甘味料を使用した飲料では血糖値が上がらないのでダメ！



血糖値を下げるお薬のなかでも低血糖のなりやすいもの、なりにくいものがあります。使っているお薬を理解し、低血糖になった際は落ち着いて対応しましょう。



当院での薬剤師の働き

薬剤部には糖尿病療養指導士の資格をもつ薬剤師が4名在籍しており、他職種と協力して糖尿病患者様のお薬指導・管理を行っています。また、かかりつけ薬局・かかりつけ薬剤師と連携して、安全な薬物治療の提供を心掛けています。糖尿病に関して理解を深めていただくための糖尿病教室では、薬剤師からお薬の効き方や注意点をわかりやすく説明させていただきます。

